

第1回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

〔不許複製〕

準2級 (A)

解答には、「常用漢字表」に示された漢字の字体、読みを使用すること。旧字体での解答は認めない。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで記せ。(30) 1×30

- 1 寡少な部員で辛うじて活動を続ける。
2 常に備忘録を携帯している。
3 捜査は難航を極めた。
4 新閣僚の陣容が決まった。
5 証人として出廷するよう求められた。
6 溪谷に架かるつり橋を渡る。
7 室内に煙が充満していた。
8 数々の旧悪が露顕した。
9 会社に近い賃貸住宅に住んでいる。
10 地震に備え本格的な対策を立てる。
11 ありとあらゆる職業を遍歴してきた。
12 国文学の泰斗として知られる。
13 組織の自浄能力の回復に期待する。
14 剛直な男で退くことを知らない。
15 愛蔵の漆器の手入れをする。
16 相手チームの練習を偵察する。
17 厳しい修行で克己心が養われた。
18 孫の初節句に内裏びなを贈る。
19 著名人の醜聞を週刊誌が取り上げる。
20 伯父が叙勲を受けることになった。
21 喪中につき欠礼させていただきました。
22 たちまち見物人の人垣が築かれた。
23 特大のホームランが球場を沸かせた。
24 手狭になった家を増築する。
25 ホースの筒先を炎に向ける。
26 唇をかんで悔しさをこらえる。
27 ご愛読を賜り光栄に存じます。
28 徐々に傷の痛みが和らいだ。
29 わざわざ診てもらってもない。
30 山頂を目指して尾根をたどる。

(二) 次の漢字の部首を記せ。(10) 1×10

〔例〕菜 門 問 門

- 1 豆
2 昆
3 韻
4 武
5 衡
6 恭
7 叔
8 凸
9 窯
10 朱

(三) 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。(20) 2×10

- ア 同じような意味の漢字を重ねたもの (岩石)
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの (高低)
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの (洋画)
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの (着席)
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの (非常)

次の熟語は右のア～オのどれにあたるか、一つ選び、記号にマークせよ。

- 1 禍福
2 未刊
3 俊秀
4 併記
5 腐臭
6 檢疫
7 旋回
8 往還
9 懐郷
10 殉難

(四) 次の四字熟語について、問1と問2に答えよ。(30)

問1 後の□内のひらがなを漢字にして1～10に入れ、四字熟語を完成せよ。□内のひらがなは一度だけ使い、答案用紙に一字記入せよ。(20) 2×10

- ア 前 1 有望 カ 6 善懲悪
イ 一朝 1 2 キ 大胆不 7
ウ 天 3 孤独 ク 平 8 無事
エ 4 苦勉励 ケ 妙計 9 策
オ 巧言 5 色 コ 熟 10 断行

- おん・がい・かん・き
こっ・せき・てき・と
りよ・れい

問2 次の11～15の意味にあてはまるものを問1のア～コの四字熟語から一つ選び、記号にマークせよ。(10) 2×5

- 11 だれ一人として身寄りが無い境遇。
12 うわべを取り繕ってこびへつらうこと。
13 ほんのわずかな期間。
14 力を尽くしてひたすら努力をすること。
15 意表をつく優れたはかりごと。

準2級

(A)

この面の設問(五)～(九)はマークシート方式ではありません。答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

氏名

(五) 次の1～5の対義語、6～10の類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。(20) 2×10

対義語

類義語

- |      |       |
|------|-------|
| 1 冷静 | 6 懇切  |
| 2 絶滅 | 7 永遠  |
| 3 軽侮 | 8 道端  |
| 4 絶賛 | 9 技量  |
| 5 蓄積 | 10 干涉 |

かいにゆう・こくひょう  
しゅわん・しょうもう・そんけい  
ていちょう・ねつれつ  
はんしよく・ゆうきゅう・ろぼう

(六) 次の―線のカタカナを漢字に直せ。(20) 2×10

- 1 遠**カク**の地に赴任する。
- 2 質問が**カク**心に触れる。
- 3 授業料の**メン**除が認められた。
- 4 試合前に**メン**密な作戦を立てる。
- 5 係**ルイ**が多く自由がきかない。
- 6 初優勝して感**ルイ**にむせんだ。
- 7 碁**バン**をにらんで長考する。
- 8 **バン**策尽きて手を上げる。
- 9 心身ともに**ツカ**れ果てた。
- 10 出家して仏に**ツカ**える。

(七) 次の各文にまちがって使われている同じ読み漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。(10) 2×5

- 1 大正の米騒動は米価暴投に怒る主婦らの決起に端を発し全国に波及した。
- 2 埋蔵文化材が豊富に残る地で史跡の発掘を体験する恒例の催しがあった。
- 3 病死した患者の遺体は遺族の承諾を得て回割し細かく調べる場合がある。
- 4 カメラに映った人間の歩き方を分責し個人を特定する技術が開発された。
- 5 老衰死した元囃卓警察犬の飛び抜けた貢献をたたえ感謝状が贈呈された。

(八) 次の―線のカタカナを漢字一字と送りがな(ひらがな)に直せ。(10) 2×5

〈例〉問題に**コタエル**。

答える

- 1 後日**クワシク**お知らせします。
- 2 高層ビルに日光を**サエギラ**れる。
- 3 予算が年々**フクラン**でいる。
- 4 長年薄給に**アマンジ**ている。
- 5 一人前の大人として**アツカウ**。

(九) 次の―線のカタカナを漢字に直せ。(50) 2×25

- 1 青く**トウメイ**な南の海に潜る。
- 2 議会は**フンキュウ**の度を深めた。
- 3 **シンジュ**のネックレスを身につける。
- 4 長い**ロウカ**を通り抜ける。
- 5 両国間で条約が**テイケツ**された。

- 6 ライバルの**ダトウ**に執念を燃やす。
- 7 所有地の一部を**バイキヤク**する。
- 8 **セイエン**にこたえてヒットを放った。
- 9 **ギンミ**された食材を用いる。
- 10 **ショサイ**で論文の執筆に専念する。
- 11 **シショウ**に厳しくしこまれた。
- 12 福祉関係の**シセツ**の充実を図る。
- 13 話し合いは時間の**ロウヒ**に終わった。
- 14 事業の**キョテン**を大都市に移す。
- 15 軍功を立てて**タイイ**に昇進した。
- 16 勤め先で**オモシロ**い話を耳にした。
- 17 傘から雨の**シズク**がしたり落ちた。
- 18 **ウラカゼ**の吹く浜辺を散歩する。
- 19 **ナワバリ**行動をとる動物は多い。
- 20 機密が内部から**モ**れていた。
- 21 **クセ**の強い文字でとても読みにくい。
- 22 工事の騒音で**ハナハ**だ迷惑した。
- 23 火は隣の**ムネ**に及んだ。
- 24 宝石の輝きに目を**ウバ**われる。
- 25 余計な口をきいて機嫌を**ソコ**ねた。